

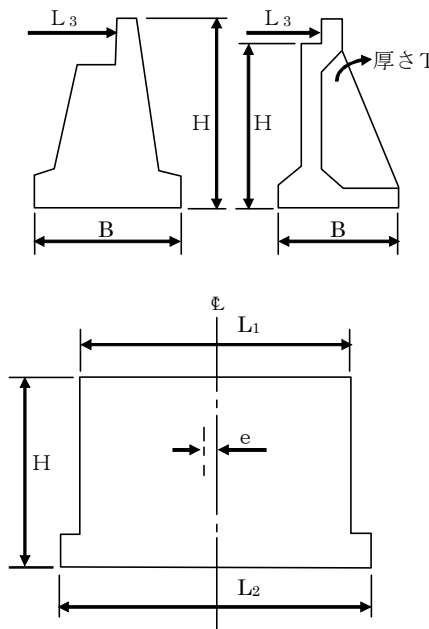
工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
10 橋 梁 工 事	1 コンクリート桁 〔ポストテンション桁〕	1 幅 (B)	上幅 (B <sub>1</sub> ) ⊕ 7 ⊖ 3 下幅 (B <sub>2</sub> 、B <sub>3</sub> ) ⊕ 3	⊕ 10 ⊖ 5 ⊕ 5	幅、高さについては桁の両端部、中央部の3箇所を全桁数測定する。桁長は各桁で、横方向の最大曲がりについてはプレストレスング後に、全桁数測定する。
		2 高さ(H)	⊕ 7 ⊖ 3	⊕ 10 ⊖ 5	
		3 桁長(L)	⊕ 10	⊕ 15	
		4 横方向の最大曲がり(δ) (桁長10.5m未満)  横方向の最大曲がり(δ) (桁長10.5m以上)		1.5L-6  10	
2 鉄筋コンクリート床版工	1 基準高(V)	⊕ 15	⊕ 20	基準高は1径間当たり2箇所(支点付近)で測定する。幅は1径間当たり3箇所測定する。厚さは、おおむね10㎡に1箇所の割合で測定する。	
	2 幅(B)	⊕ 20	⊕ 30		
	3 厚さ(T)	⊕ 13 ⊖ 7	⊕ 20 ⊖ 10		

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	幅、高さ、桁長、横方向の最大曲がり	<p style="text-align: center;">L : 桁長 (m)</p>	
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、幅、厚さ		コンクリート橋に適用する。

工 種		項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
10 橋 梁 工 事	3 鉄筋コン クリート 高欄及び 地覆工	1 高 欄 幅 (B)	⊕ 13	⊖ 20	1 径間当たり両端と中 央部の両側を測定する。
		2 高欄高さ (H)	⊕ 20	⊖ 30	
		3 地 覆 幅 (B)	⊕ 13	⊖ 20	
		4 地覆高さ (H)	⊕ 13	⊖ 20	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	高欄幅、高欄高さ、地覆幅、地覆高さ		

工 種		項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
11 橋 梁 下 部 工 事	1 橋台工	1 敷幅(B)	⊕ 30	⊖ 50	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部で測定し、その他は構造図の寸法標示箇所を測定する。
		2 控壁の厚さ(T)	⊕ 20 ⊖ 13	⊖ 20	
		3 高さ(H)	⊕ 30	⊖ 50	
		4 中心線のズレ(e)	⊕ 30	⊕ 50	
		5 天端長(L <sub>1</sub> )	⊕ 30	⊖ 50	
		6 敷長(L <sub>2</sub> )	⊕ 30	⊖ 50	
		7 胸壁間距離(L <sub>3</sub> )	⊕ 20	⊕ 30	
	8 橋台沓部	「1 共通工事の 9 精度を要するもの」の項に定めるところによる	同 左	同 左	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	敷幅、控壁の厚さ、高さ、中心線のズレ、天端長、敷長、胸壁間距離		2 スパン以上の場合の胸壁間距離は「2 及び 3 橋脚工」の橋脚中心間距離において管理する。
同 左	同 左	同 左	同 左	

工 種		項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
11 橋 梁 下 部 工 事	2 橋脚工 〔張出式 重力式 半重力式〕	1 基準高(V)	⊕ 15	⊕ 20	橋軸方向の断面寸法は 中央及び両端部で測定 し、その他は構造図の寸 法表示箇所を測定する。
		2 天端長( $l_1$ )	⊕ 30	⊖ 50	
		3 敷長( $l_2$ )	⊕ 30	⊖ 50	
		4 天端幅( $B_1$ )	⊕ 20 ⊖ 13	⊖ 20	
		5 敷幅( $B_2$ )	⊕ 30	⊖ 50	
		6 高さ(H)	⊕ 30	⊖ 50	
		7 橋脚中心 間 距 離 (L)	⊕ 20	⊕ 30	
		8 中心線の ズレ(e)	⊕ 30	⊕ 50	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、天端長、敷長、天端幅、敷幅、高さ、橋脚中心間距離、中心線のズレ	<p>The image contains two technical diagrams of bridge piers. The top diagram is a plan view showing two piers with various dimensions: <math>B_1</math> (top width), <math>B_2</math> (base width), <math>B_3</math> (top width of the pier stem), <math>B_4</math> (width of the pier stem), <math>H_1</math> (total height), <math>H_2</math> (height of the upper section), <math>H_3</math> (height of the lower section), <math>H_4</math> (height of the pier stem), and <math>L</math> (distance from the centerline to the top edge). The bottom diagram is another plan view showing dimensions: <math>l_1</math> (width of the upper section), <math>l_2</math> (width of the base), <math>l_3</math> (width of the pier stem), <math>l_4</math> (width of the pier stem), <math>e</math> (eccentricity), <math>H_1</math> (total height), <math>H_2</math> (height of the upper section), <math>H_3</math> (height of the lower section), <math>H_4</math> (height of the pier stem), and <math>\phi</math> (centerline offset).</p>	



工 種		項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
11 橋 梁 下 部 工 事	3 橋脚工 (ラーメン式)	1 基準高(V)	⊕ 15	⊕ 20	橋軸方向の断面寸法は 中央及び両端部で測定 し、その他は構造図の寸 法表示箇所を測定する。
		2 天端長( $l$ )	⊕ 15	⊖ 20	
		3 天端幅 ( $B_1$ )	⊕ 20 ⊖ 13	⊖ 20	
		4 中間幅( $d$ )	⊕ 15	⊖ 20	
		5 基礎幅 ( $B_2$ 、 $b$ )	⊕ 30	⊖ 50	
		6 高さ(H)	⊕ 30	⊖ 50	
		7 厚さ(T)	⊕ 20 ⊖ 13	⊖ 20	
		8 橋脚中心 間距離 (L)	⊕ 20	⊕ 30	
		9 中心線の ズレ( $e$ )	⊕ 30	⊕ 50	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	構造図に朱記、併記することが困難なもの	基準高、天端長、天端幅、中間幅、基礎幅、高さ、厚さ、橋脚中心間距離、中心線のズレ		